教科目名　英語ＬＬ　(English LL)

学科名・学年　：　機械工学科　１年，情報工学科　１年
単位数など　：　必修　１単位　（後期１コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　穴井孝義

授業の概要

英語の４技能の中でも特に「聴く力」と「話す力」に重点を置き，演習形式でコミュニケーション力を身につける．まず，スムーズなコミュニケーションが図れるよう，必要な英語の予備知識を習得する．次に，基本的な発音記号の習得を通して徐々に英語独特の発音に慣れていくことを目指す．また，リスニング演習では書き取り演習（Dictation）を通して聞き取れなかった箇所を確認し，英文全体が把握できるようになることも目指す．最終的には，英語のネイティブスピーカーと口頭で基本的なコミュニケーションがとれるようになることを目標とする．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)**

(1) 必要な英語の予備知識を習得して推測力を高めることができるようになる．（中間試験）
(2) リスニング演習を通じて必要な最低限の情報が把握できるようになる．（Lesson 毎の小テスト＋定期試験）
(3) 英語の５文型を習得して文構造の違いが判別できるようになる．（期末試験）
(4) 書き取り演習（Dictation）を通じて聞き取れなかった箇所が把握できるようになる．（Lesson 毎の小テスト＋定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション 推測力向上のための演習	授業の流れや評価方法の解説と諸注意 ＊毎回，ペアでの会話練習をする．	【理解の度合い】
2	推測力向上のための演習	＊１，２回目は推測力向上のための演習を展開する．	
3	リスニング演習＋発音演習	＊３回目以降は，上記の活動に加え，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する．	
4	同上		
5	同上		
6	同上		
7	同上＋質問受付け		
8	後期中間試験	リスニングテストを含む	【試験の点数】　　点
9	後期中間試験の解説と学習指導 リスニング演習＋発音演習	＊毎回，ペアでの会話練習をしてから発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する．	【理解の度合い】
10	同上		
11	同上		
12	同上		
13	同上		
14	同上＋質問受付け		
15	後期期末試験	リスニングテストを含む	【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	＊小テスト前には付属の音声ＣＤを何度も聞いて準備しておくこと． ＊演習主体の授業を展開するので，欠席しないように心がけること． ＊授業には英和（和英）辞書を必ず持参すること． ＊授業後は，付属の音声ＣＤを使って音読での復習を徹底すること．	【総合達成度】
教科書	桐原書店編集部編，「Sound Master 聞き方の技術 Elementary」，桐原書店．推測力向上演習用プリント．「理工系学生のための必修英単語 COCET 2600」，成美堂．	
参考図書	英和（和英）辞書．	
自学上の注意	授業後は付属の音声ＣＤを使ってナチュラルスピードについていけるよう，音読を徹底して行うこと．	
関連科目	英語ＩＡ，英語ＩＢ，英会話，英語ⅡＡ，英語ⅡＢ	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について定期試験(2 回分)と Lesson 毎の小テストで評価．総合評価＝定期試験(80 点)＋Lesson 毎の小テスト(20 点)．総合評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする．再試験については，総合評価が 40 点以上の学生に限って１回のみ実施．授業態度の悪い学生は 10%を上限に減点する．	【総合評価】　　点

教科目名　英語ＬＬ　(English LL)

学科名・学年　：　電気電子工学科　１年，都市・環境工学科　１年
単位数など　：　必修　１単位　（前期１コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　穴井孝義

授業の概要

英語の４技能の中でも特に「聴く力」と「話す力」に重点を置き，演習形式でコミュニケーション力を身につける．まず，スムーズなコミュニケーションが図れるよう，必要な英語の予備知識を習得する．次に，基本的な発音記号の習得を通して徐々に英語独特の発音に慣れていくことを目指す．また，リスニング演習では書き取り演習（Dictation）を通して聞き取れなかった箇所を確認し，英文全体が把握できるようになることも目指す．最終的には，英語のネイティブスピーカーと口頭で基本的なコミュニケーションがとれるようになることを目標とする．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)**

(1) 必要な英語の予備知識を習得して推測力を高めることができるようになる．（中間試験）
(2) リスニング演習を通じて必要な最低限の情報が把握できるようになる．（Lesson 毎の小テスト＋定期試験）
(3) 英語の５文型を習得して文構造の違いが判別できるようになる．（期末試験）
(4) 書き取り演習（Dictation）を通じて聞き取れなかった箇所が把握できるようになる．（Lesson 毎の小テスト＋定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション 推測力向上のための演習	授業の流れや評価方法の解説と諸注意 ＊毎回，ペアでの会話練習をする．	【理解の度合い】
2	推測力向上のための演習	＊１，２回目は推測力向上のための演習を展開する．	
3	リスニング演習＋発音演習	＊３回目以降は，上記の活動に加え，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する．	
4	同上		
5	同上		
6	同上		
7	同上＋質問受付け		
8	前期中間試験	リスニングテストを含む	【試験の点数】　　点
9	前期中間試験の解説と学習指導 リスニング演習＋発音演習	＊毎回，ペアでの会話練習をしてから発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する．	【理解の度合い】
10	同上		
11	同上		
12	同上		
13	同上		
14	同上＋質問受付け		
15	前期期末試験	リスニングテストを含む	【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	＊小テスト前には付属の音声ＣＤを何度も聞いて準備しておくこと． ＊演習主体の授業を展開するので，欠席しないように心がけること． ＊授業には英和（和英）辞書を必ず持参すること． ＊授業後は，付属の音声ＣＤを使って音読での復習を徹底すること．	【総合達成度】
教科書	桐原書店編集部編，「Sound Master 聞き方の技術 Elementary」，桐原書店．推測力向上演習用プリント．「理工系学生のための必修英単語 COCET 2600」，成美堂．	
参考図書	英和（和英）辞書．	
自学上の注意	授業後は付属の音声ＣＤを使ってナチュラルスピードについていけるよう，音読を徹底して行うこと．	
関連科目	英語ＩＡ，英語ＩＢ，英会話，英語ⅡＡ，英語ⅡＢ	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について定期試験(2 回分)と Lesson 毎の小テストで評価．総合評価＝定期試験(80 点)＋Lesson 毎の小テスト(20 点)．総合評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする．再試験については，総合評価が 40 点以上の学生に限って１回のみ実施．授業態度の悪い学生は 10%を上限に減点する．	【総合評価】　　点